

新規水源確保に向けて

本市では新規水源の確保に向けて「黒瀬ダム未利用水からの松山分水」を最優先に取り組んでいます。昨年12月には野志市長が西条市の玉井市長を訪問し、黒瀬ダムの水の有効活用について再度要請しました。渇水に強いまち、幸せ実感都市まつやまを創造するためには、新たな水源が必要です。そこでこれまでの経緯や交渉経過などについてお知らせします。



平成6年の大渇水時、水位が低下して湖底が露出した石手川ダム

これまでの主な経緯

時期	内容	関連箇所
平成6年	列島大渇水（4カ月もの断水を経験）	
平成15年8月	節水型都市づくり条例制定	
平成16年2月	長期的水需給計画 基本計画 策定（必要とする水量4万8,000立方メートル/日）	①
平成17年12月	松山市議会で、西条地区工業用水の一部転用を最優先に取り組むことが決議される	
平成17年12月	県知事・県議会に方策の推進を要望	
平成18年1月～	西条市に今後の協力について要望	
平成22年9月	県・西条市・新居浜市・本市の間で「水問題に関する協議会」を設置	
平成27年8月	県から「西条と松山の水問題に対する6つの提案」が示される	②
平成29年2月	長期的水需給計画 基本計画 を改訂（必要とする水量4万8,000立方メートル/日から4万立方メートル/日へ）	①
平成29年9月	県へ「西条と松山の水問題に対する6つの提案」に対する回答を提出	②
平成29年11月	西条市へ6つの提案の回答について説明および黒瀬ダムの水の有効活用について協力を依頼	③
平成30年12月	黒瀬ダムの水の有効活用について協力を依頼	④

①新規水源の確保と「長期的水需給計画」について

新規水源の確保策として考えられる19の方策について検討した結果、必要水量を確保できる方策は「西条黒瀬ダム未利用水からの分水」と「海水淡水化」の2つでした。この2つの方策のうち、コスト面に優れる黒瀬ダムからの分水を最優先に取り組んでいます。

現在、本市が必要とする水量

4万立方メートル/日（平成29年2月改訂の長期的水需給計画）

本市の水事情

大規模災害により浄水場や配水池などが使用できなくなる恐れ

温暖化による気象変動

ダムと地下水の二つしかない水源

未給水地域の統合

他都市並みの給水サービスの確保（給水圧の改善）



3階以上の建物は受水槽が必要。衛生面も心配

給水圧が低くて2階に節水型トイレが設置できるか心配



②「西条と松山の水問題に対する6つの提案」について

黒瀬ダムには西条・松山両市が利用可能な水量があることが分かったことから、平成27年8月に県より両市の水問題解決に向けた最善の方策として「西条と松山の水問題に対する6つの提案」が示されました。

「黒瀬ダムからの補給について県の検討結果」

県営黒瀬ダムには西条の地下水涵養のために必要な「加茂川水量を確保できる能力があります（かんがい期に長瀬地点で毎秒5立方メートル）」さらに「使用目的が決まっていない、利用可能な水が日量5万8,000立方メートル」あります（県ホームページより）



二次元コード

県営黒瀬ダムの供給能力	西条市の地下水涵養のために必要な水量 長瀬地点で 毎秒5立方メートル流量確保	工業用水として使用する水量 8万7,000立方メートル/日	使用目的が決まっていない利用可能な水量 5万8,000立方メートル/日
			本市が必要とする水量4万立方メートル/日

この提案に対し、本市は平成29年9月に県へ回答しました。

県の提案	本市の回答（要約）
西条、松山両市の水問題を一緒に解決しませんか	西条市と一緒に県と協議を進めたい。
西条の水文化を将来にわたり守るため県営黒瀬ダムの具体的な活用方策を検討しませんか	「西条の水を守る」という意識を共有しながら、黒瀬ダムの水の有効活用について、共に考え、できる限り協力させていただきたい。
渇水時の西条市優先をルール化しませんか	万一、西条市が渇水状況におちいる場合、地元優先は当然なので、西条市のご理解をいただきながら、渇水時の具体的な対応に関する協定などを締結したい。
松山市は通常時にダムからの取水を抑制しませんか	季節に応じて水量を低減させるなど、通常期の水量の抑制について、精一杯、対応させていただきたい。
松山市はダム上流域で水源涵養をしませんか	黒瀬ダム上流域の涵養林整備はもちろんのこと、それら地域を活性化させるさまざまな振興策についても、対応させていただきたい。
西条市と松山市との交流・連携を考えませんか	さまざまな分野で交流・連携を進めている。今後もこうした交流・連携を軸に、民間同士の幅広い取り組みが進むよう関係者に働きかけると同時に、必要な支援を行いたい。

西条市は、昨年11月に設立した「地下水保全協議会」の中で協議を進めていて、今年度末までに回答を行う予定です。

③西条市長を訪問し、黒瀬ダムの水の有効活用について協力依頼

平成29年11月13日に野志市長が西条市長を訪問し、直接、6つの提案に対する本市の回答（上記②）の説明と黒瀬ダムの水の有効活用について協力をお願いしました。西条市長へは、西条市の皆さんの水に対する強い思いを共有し、両市の課題解決に向けて歩みを進めさせていただきたいこと、水源地域の涵養林整備や活性化、さまざまな連携交流を広げていきたいことなど本市の思いを伝えました。



黒瀬ダム

④再度西条市長を訪問し協力を要請

平成30年12月18日に野志市長が西条市長を訪問し、再度、黒瀬ダムの未利用水の有効活用について、協力をお願いをしました。そして、本市に対する要望などがあればお聞かせいただき、できる限りの協力をさせていただくことなど、本市の真摯な気持ちを伝えました。

■今後に向けて

今後も西条市の皆さんの水への思いを尊重した上で、黒瀬ダムの水の利用について関係者にご理解いただけるよう、丁寧かつ粘り強く働きかけていきます。協議の進捗については、広報まつやまや市ホームページでお知らせします。